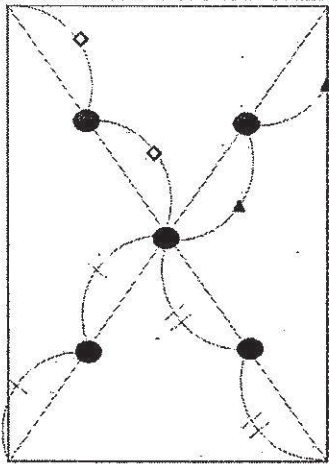
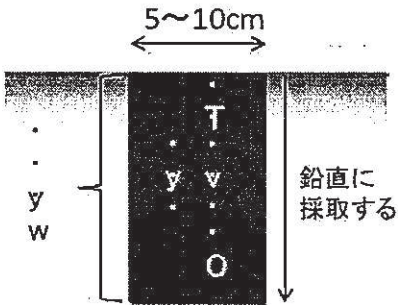


放射性物質測定のための土の採り方

<p>採取地点</p>	<p style="text-align: center;">ほ場の5か所から土をとる</p> <p>① ほ場に対角線を引き、その交点1点と、交点と頂点を結んだ線の中点4点の計5点を土壌採取地点とする。</p> <p>② 土壌採取地点は、稲わら等の農作物残さやマルチ、草木、雪等による被覆がない箇所並びに水がたまっていない箇所とし、①の地点に農作物が作付されている場合は①の地点にほど近い所とする。畝たてされている畑地においては、うね間から採取する。</p>	
<p>土壌の採取</p>	<p style="text-align: center;">鉛直に作土層までの土をとる</p> <p>① 土壌採取地点（5点）において、移植ゴテ等で、鉛直に作土層までの土をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作土層が30cm以上の場合30cmまでを採取 ・土壌表面を取り除いたりせず、そのまま採取 ・5か所で合計1kgになるようにとる <p>② ビニール袋に入れ、土壌試料をよくもみほぐし、混合する。</p>	
<p>乾燥</p>	<p>① ふるいで土壌中の小石や植物残渣を取り除く</p> <p>② シート上に薄く広げ、1日程度、天日乾燥し、梱包する。 (目安として、さらさらの状態まで乾燥させる。)</p>	
<p>梱包</p>	<p style="text-align: center;">ビニール袋を密閉する</p> <p>① 試料を入れたビニール袋は、袋の中の空気をぬき、輪ゴム等で密閉する。これを2枚目のビニール袋に入れ、同様の方法により梱包することにより、2重に密閉する。</p> <p>② ビニール袋に、氏名（複数ほ場からとった場合は、ほ場名）と採取年月日及び時刻を明記する。</p>	